

# 経営比較分析表（平成29年度決算）

岐阜県 養老町

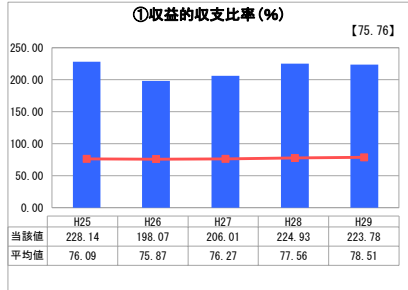
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)	
-	該当数値なし	7.29	1,600	

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
29,508	72.29	408.19
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
2,137	15.00	142.47

**グラフ凡例**

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成29年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



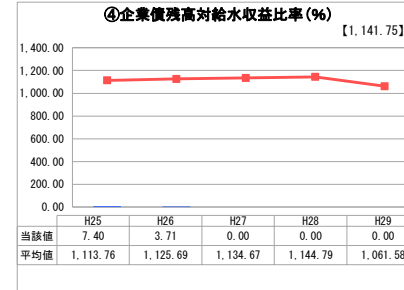
「単年度の収支」



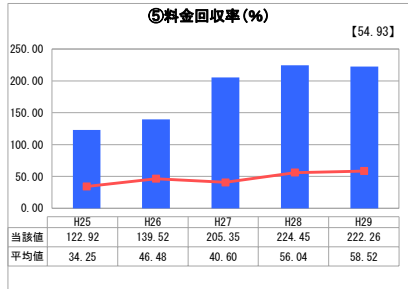
「累積欠損」



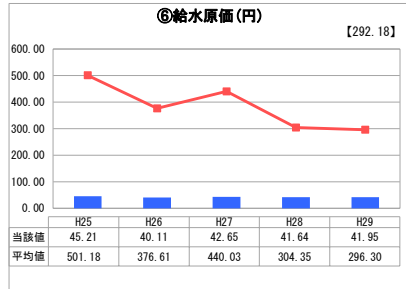
「支払能力」



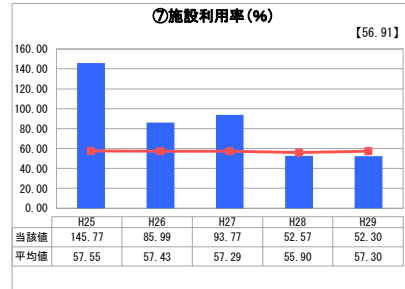
「債務残高」



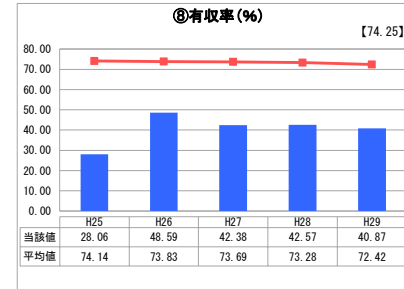
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

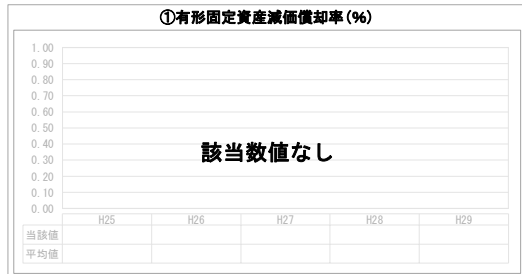


「施設の効率性」



「供給した配水量の効率性」

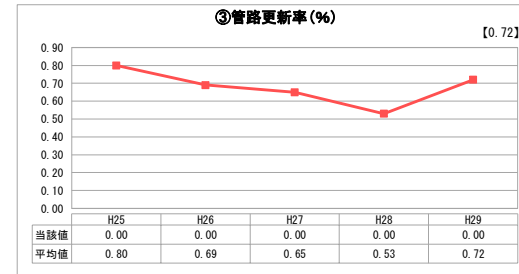
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

経営状況は、昨年度とあまり変わりがなく「収益的収支比率」をみても単年度の収支は、昨年同様の黒字となっています。これは、施設設備や埋設管等の修繕工事が少なく支出が抑えられたことが要因だと考えられます。

また、料金回収率は、100%を上回っており、給水に係る費用は料金収入によって賄われています。

施設利用率は類似団体とあまり変わらないのですが、有収率が低く収益に結びついていない状況です。この原因として埋設管等の漏水などの無効水量が考えられ、有収率の低下を防ぐためにも漏水の早期発見、修繕に努めていく必要があります。

### 2. 老朽化の状況について

事業開始からおよそ45年が経過しており、施設の老朽化が進んできていることから、埋設管の漏水や施設設備の故障が頻繁に発生している状況です。2024年度には、上水道への移行を予定していますが、移行するまでの間、安全で安心な水を供給できるよう、施設設備や埋設管等の点検、修繕などを行い、適切な維持管理に努めていく必要があります。

### 全体総括

経営状況は比較的安定していますが、施設や埋設管の老朽化が顕著に表れています。しかし、2024年度に上水道への移行を予定していることから、新たな施設や埋設管などの更新を行う予定はありません。そのため、今後、施設や埋設管の老朽化に伴い修繕費の増加が考えられることから、経費削減などに取り組み健全性が保てるよう努めていきます。

※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。